

校長室だより

# 春日 (しゅんじつ)

校長 清武 直人

## お日さまのように

先生は、子どもたちの一言一言に笑顔で応えました。  
先生は、子どもたちの一言一言に深くうなずきました。  
先生は、恥ずかしがりやさんの横に寄り添って  
その子に声を出す勇気と喜びを与えました。

戦後の日本の教育の基礎をつくってこられた東井義雄先生は、次のような言葉を残されました。

「草や木は、お日さまに向かって伸びます。人間は、大人も子どもも喜びのある方向に向かって伸びると言えないでしょうか。

子どもを勉強好きにするのも、どうするのにも、かぎは、喜びを与えるかどうかにかかっているようです。」

私にもう一度教壇に立つチャンスが与えられるなら  
あの先生のように  
子どもたちの「お日さま」のように  
なれるだろうか。

## 登校あれこれ

1年生とお姉ちゃんが歩いて来ます。

1年生に尋ねました。

「ねえ、学校楽しい?」

「うん! 楽しい!」

「でもね、上の学年になるちょっと複雑」

とは、お姉ちゃんの弁。

学校が始まる時間が近まってきました。あっ、6年生の女の子が、遅刻すまいと全力で走ってきます。そのまま私を追い越すかと思いきや、私の前でピタリと止まり

「おはようございます」

なかなかの律儀者。さすが「挨拶日本一」を目指す春日小学校の子です。



## ネコの飼い方

今まで犬しか飼ったことのない男がネコを飼うことにしました。男は、犬を愛したようにネコを愛しました。

飼い主に従順な犬は、この男に飼われることがとても幸せでした。でも、勝手気ままなネコは、この男の愛がうっとうしくてたまりませんでした。

男は時々、ネコにお手やおかわりを要求しました。またある時は、いやがるネコを追い回して強く抱きしめるのでした。

ネコは、男のことがいやでいやでたまりませんでした。そんな時、ネコは思い切り男の手にかみついたのでした。

「ほら、またひっかかれてから。」

「いつだってちゃんと相手を見て行動せないかんとよ。みんな同じじゃないんだから……。」

男はそのたびに、妻に諭されるのでした。

## この子の愛し方

犬の愛し方でネコを愛することはできませんでした。子育てにしても、学校教育にしても同じなのかなあって、今さらながらに思うんです。

一つしか知らない愛し方を無理矢理押しつけたりしていなかったかなあ。まだ間に合うかな。この子の愛し方。